※令和４年度以降入学生用

学校番号	317

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新編「言語文化」　（数研出版）						
副教材等	使用しない						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 将来、社会人として必要となる基礎的な語彙力の定着を目指します。
- 様々な文章を「読む力」を向上させ、意思伝達のための「書く力」を身につけることを目指します。
- 古典の授業では、有名な古文・漢文の作品を学び、伝統的な言語文化への理解を深めることを目指します。
- 提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することをめざす。

（１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、日本語・日本文化に対する理解を深めることができるようにする。

（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」,「読むこと」の各領域において，生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	作品の主題について考え、述べる。 [教材]とんかつ	a：文章の意味が、文脈の中で形成されることを理解している。 b[読]：文章の内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えるとともに、内容の解釈を深めることができる。 c：進んで文章全体を整え、今までの学習を生かして問いに対する自分の考えを客観的に述べ、他者の意見を踏まえながらよりよいものにしようとしている。	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	作品に描かれた世界を現代の言葉で説明する。 [教材]児のそら寝	a：古典の世界に親しむために、必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解することができる。 b[読]：文章の内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えるとともに、内容の解釈を深めることができる。 c：積極的に古典の理解を深めようとしているとともに、自分の思いが伝わるようにあらゆる工夫をしてよりよいものにしようとしている。	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	作品の主題について考え、述べる。 [教材]羅生門	a：文章の意味が、文脈の中で形成されることを理解している。 b[読]：文章の内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えるとともに、内容の解釈を深めることができる。 c：進んで文章全体を整え、今までの学習を生かして問いに対する自分の考えを客観的に述べ、他者の意見を踏まえながらよりよいものにしようとしている。	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	作品に描かれた世界を現代の言葉で説明する。 [教材]芥川	a：古典の世界に親しむために、必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解することができる。 b[読]：文章の内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えるとともに、内容の解釈を深めることができる。 c：積極的に古典の理解を深めようとしているとともに、自分の思いが伝わるようにあらゆる工夫をしてよりよいものにしようとしている。	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
2学期	作品の主題について考え、述べる。 ［教材］沖縄の手記から	a：文章の意味が、文脈の中で形成されることを理解している。 b[書]：自分の思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫することができる。 c：積極的に他者の意見を理解しようとするとともに、作者の意図を汲み取った上で自分の考えにいかそうとしている	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	作品に描かれた世界を現代の言葉で説明する。 ［教材］丹波に出雲といふ所あり	a：古典の世界に親しむために、必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解することができる。 b[読]：文章の内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えるとともに、内容の解釈を深めることができる。 c：積極的に古典の理解を深めようとしているとともに、自分の思いが伝わるようにあらゆる工夫をしてよりよいものにしようとしている。	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	作品の主題について考え、述べる。 ［教材］葉桜と魔笛	a：文章の意味が、文脈の中で形成されることを理解している。 b[読]：文章の内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えるとともに、内容の解釈を深めることができる。 c：進んで文章全体を整え、今までの学習を生かして問いに対する自分の考えを客観的に述べ、他者の意見を踏まえながらよりよいものにしようとしている。	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	作品に描かれた世界を現代の言葉で説明する。 ［教材］故事成語を学ぶ	a：古典の世界に親しむために、必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 b[読]：文章の内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えるとともに、内容の解釈を深めることができる。 c：積極的に古典の理解を深めようとしているとともに、自分の思いが伝わるようにあらゆる工夫をしてよりよいものにしようとしている。	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
３学期	作品の主題について考え、述べる。 ［教材］側転と三夏	a：文章の意味が、文脈の中で形成されることを理解している。 b[読]：文章の内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えるとともに、内容の解釈を深めることができる。 c：進んで文章全体を整え、今までの学習を生かして問いに対する自分の考えを客観的に述べ、他者の意見を踏まえながらよりよいものにしようとしている。	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	作品に描かれた世界を現代の言葉で説明する。 ［教材］木曽の最期	a：古典の世界に親しむために、必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解することができる。 b[読]：文章の内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えるとともに、内容の解釈を深めることができる。 c：積極的に古典の理解を深めようとしているとともに、自分の思いが伝わるようにあらゆる工夫をしてよりよいものにしようとしている。	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　６０　）時間